

定時制の灯を守ろう!

NO. 83

2005.6.28

守る会連絡会便り

都立定時制高校を守る会・連絡会

URL: <http://homepage3.nifty.com/save-teiji/>

連絡会事務局発行

都議会議員選挙候補者へのアンケート結果について

私たちは東京都教育委員会が現在進めている「高校改革」について、来月実施される都議会議員選挙に立候補を予定している候補者のうち、私たちが把握できた178名に「都立高校の統廃合等に関するアンケート」を実施いたしました。6月20日までに60名プラス公明党（代表回答）の回答がありましたのでその結果について発表します。

都立定時制高校を守る会・連絡会

代表 森 光男

05年度総会のお知らせ

日時：7月9日(土) 18:30～

会場：日本教育会館 7F(都高教会議室)

講演：定時制卒業生の社会への移行について

講師：西村貴之氏
(東京都立大学)

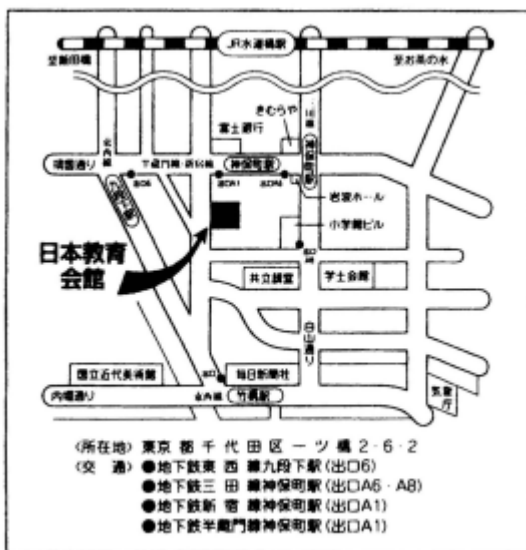
議事：

04年度活動報告

05年度活動方針

今年度の体制

交流



	質問1		質問2			質問3		
	知っている	知らない	賛成	反対	その他	そう思う	そうは思わない	その他
自由民主党(6)	5	1	5	1			6	
民主党(9)	8	1	2	3	4	4	1	4
公明党								
日本共産党(34)	34			34		33		1
生活者ネットワーク(10)	10				10			10

意見等の記載があったもの

質問事項2：「あなたはこの推進計画」についてどの様にお考えですか？」

- ▲ 進め方が拙速すぎる。幅広く都民の声を聞くべき。(大津ひろ子・民)
- ▲ 時代の変化とともに、都民のニーズも社会も変化するので、高校も常に改善を続ける必要があると考えています。(西岡真一郎・民)
- ▲ 少子化が背景にあるといっても教育現場に単純な数値的合理化を持ち込むのは賛成できない。(伊藤悠・民)
- ▲ 細部にわたって一切の異論がないわけではないが択一で問われれば賛成になる。改革を進めるには、計画にとらわれず柔軟に対応することが大事である。しかし時代の変遷とともに都民のニーズも変化するので、高校も常に改善を続け最善を目指していかなければならない。(和田宗春・民)

質問4		質問5		質問6			質問7		
「国連子どもの権利委員会」は昨年1月、東京都を名指して定時制高校の統廃合を再考するよう日本政府に「勧告」していますがあなたはこのことを知っていますか？		「東京弁護士会」は昨年6月改革推進計画に基づく「都立定時制高校の廃校およびそれに伴う募集停止措置は、生徒の学習権を侵害するものでありかつ子どもの意見表明権などにつき定める子どもの権利条約の趣旨に反するおそれがきわめて強いものであるので、再検討すべきである」との意見書を提出しましたが、あなたはこのことを知っていますか？		「知っている」と答えられた方にお聞きします。あなたはこの「意見書」について、どの様にお考えですか？			推進計画が実施されるようになってから、定時制課程の受験者にかんがりの不合格者が出るようになってきました。これはこの間定時制高校がはたしてきたセーフティネットとしての役割等実態を考慮しないまま、進められた募集停止によるものと私たちは考えていますが、あなたはどのようにお考えですか？		
知っている	知らない	知っている	知らない	そう思う	そうは思わない	その他	そう思う	そうは思わない	その他
	6		6					1	5
7	2	7	2	4	3		5	1	2
34		33	1	33			34		
10		10		10					10

- ▲ いわゆる少子化に伴う一般的な整理統合を検討することは必要と考えますが、教育をする義務と称した従来型の学校運営のあり方を丁寧に論議していく過程が最重要であったと考えます。(野沢あきら・民)
- ▲ 都民のニーズに応える新しいタイプの高校の設置や、少子化に伴う生徒数の減少から学校数の適正化を図ることは必要なことと思います。(公明党)
- ▲ 教育を受ける機会を狭めることになると心配です。(しのはら重信・共)
- ▲ 計画は様々な事情を抱える子供たちが能力に応じて等しく教育を受ける権利を侵害する恐れのあるものです。実際今年の夜間定時制で不合格者も生まれ、教育を受ける権利を閉ざされた人も生まれています。統廃合の計画は見直すべきです。(小松きょう子・共)
- ▲ この計画は、第1次の時から現在に至るまで、保護者、生徒、OB、学校関係者等から、様々な理由で見直しを求める請願や陳情が数え切れないほど都議会に出されています。計画は都民の声を聞き見直すべきです。(東ひろたか・共)
- ▲ 多様な教育があることは選択しがふえ、やり直しができるなど期待できる面もあるが当該の学校が変わっていくことを心配する卒業生や、保護者の声にもきちんと応えていく必要がある(大西由紀子・ネ)

- ▲ 生徒や保護者、地域住民などで話し合いをすること。都心回帰による人口増の自治体も出ていることなどから推進計画の見直しは必要だと考えます。(同様意見：執印まち子、原田恭子、山口文江・ネ)
- ▲ 十分な議論を行い見直すことが必要(佐々木みき・ネ)
- ▲ 必要とする人たちの意見をもっと聞くことが必要だと思う。人口が増加している自治体もあり推進計画の見直しも必要だ。(佐久間ひろ子・ネ)
- ▲ 見直すことも必要。①人口が増えている自治体もある。②当事者とのていねいな話し合いが必要。(同様意見：堀之内敏恵、佐藤まさ子、馬場たか子、大西ゆき子、いいじま時子・ネ)

質問事項3：「特に定時制高校については、計画完成時にほぼ半数の学校が統廃合されてしまいます。これは様々な課題を抱えた生徒の「学習権」を侵害するものと私たちは考えていますが、あなたはどのようにお考えですか？」

- ▲ 統廃合が学習権の侵害に当たるとは考えません。進め方によっては危険性があるので侵害にならないよう対応すべきと考えます。定時制高校は数ある学びの場の1つとして、社会環境の中でとても大切なものだと考えています。(西岡真一郎・民)
- ▲ 定時制高校が果たしてきた教育的弱者に対するセーフティネットの役割を制度的に放棄するのは反対です。(伊藤悠・民)
- ▲ 統廃合が即学習権の侵害とは思わないが、しかしやり方によってそうなる危険性は孕んでいると思います。ですから絶対にその様にならないよう対応する必要があります。学習の方法は個々の事情に対応し選択できるよう複数ある方がよいと思います。定時制はその1つとして大切なものです。(和田宗春・民)
- ▲ 学習権という表現が適切かどうかは別として教育を受ける機会が減少することは好ましくないと考えます。(野沢あきら・民)
- ▲ 統廃合が学習権の侵害にあたるのであれば問題だと思うが、計画は定時制希望者の入学枠を確保したものと考えます。(公明党)
- ▲ 定時制高校には全日制になじめなかった生徒、不登校経験者、若いときに学べなかった年配者など様々な事情を抱えた人が学んでいます。統廃合により受け皿が狭まれば教育を受ける権利が侵害されると考えます。(小松きょう子・共)
- ▲ 夜間定時制の良さや役割をないがしろにする計画といわなければならないと思います。(しのはら重信・共)
- ▲ 様々な事情やハンデイのある生徒にとり、学びたいと思う生徒に広く門戸を開き、暖かく迎えてくれる定時制が近くにあることが大変重要です。こうしたことを無視した統廃合は問題です。(東ひろたか・共)

- ▲ 地域によっては通学条件が厳しくなるエリアが出てくることや、不登校やひきこもりなど全日制で受け入れの難しい少数の生徒の学習権が突然奪われないよう慎重に進めるべきだと考える（同様意見：堀之内敏恵、山口文江、大西由紀子、執印まち子・ネ）
- ▲ 通学の条件が悪くなる地域も出てくることもあり、働きながら学ぶことが保障されなくなる。拙速に進めるべきでない。（同様意見：佐藤まさ子、馬場たか子、大西ゆき子、いいじま時子、佐久間ひろ子・ネ）
- ▲ 学習権を奪わないためには拙速に進めるべきでない。（同様意見：原田恭子、佐々木みき・ネ）

質問事項4：「国連子どもの権利委員会」は昨年1月、東京都を名指して定時制高校の統廃合を再考するよう日本政府に「勧告」していますが、あなたはこのことを知っていますか？」

- ▲ 委員会は日本政府の定期報告に対する審査を行い「東京都に対し定時制学校の閉鎖を再考し、代替的教育を拡充することを推奨すること」を勧告しています。この件で子どもたちが「権利委員会」に申し立てを行っていますが、彼らが自主的に考え行動したことは素晴らしいことだと思います。（和田宗春・民）

質問事項6：「東京弁護士会」は昨年6月改革推進計画に基づく「都立定時制高校の廃校およびそれに伴う募集停止措置は、生徒の学習権を侵害するものでありかつ子どもの意見表明権などにつき定める子どもの権利条約の趣旨に反するおそれがきわめて強いものであるので、再検討すべきである」との意見書を提出しましたが、あなたはこのことを知っていますか？」との質問に「知っている」と応えた方の意見。

- ▲ 国の動向を踏まえて、今後どのように対処できるか検討したい。（公明党）
- ▲ 現在定時制で学ぶ学生に不利益にならぬよう出来る限りの配慮がなされるべきです。又私たち大人は、子どもが最善の環境で学べるよう環境整備の努力が必要です。計画実施後55校が夜間定時制として存続し昼夜間定時制が新たに開校します。また単位制・通信制など多様な学びの場が拡充されます。現在の夜間定時制高校には課題もあります。これらを前提として計画について考えた場合、減る部分だけを取り上げ、権利侵害と断じるのは少々無理があり難しいと思います。（同様意見：和田宗春、西岡真一郎・民）
- ▲ 都教委は国連子どもの権利委員会や東京弁護士会の勧告を謙虚に受け止め計画を見直すべきです。「意見書」の趣旨の通り、学びたいと希望している生徒全員に行政として学習権を保証すべきである。（東ひろたか・共）
- ▲ 都教委は耳を傾けるべきだ（宮本徹・共）
- ▲ 知りませんでした。弁護士会がこのような意見書を出していただいたことは、大変力強くうれしく思います。本当にその通りです。（井手重みつ子・共）

- ▲ まったく同意見です。（しのはら重信・共）
- ▲ 権利の主体である子どもの意見を聴くこと、またそれをどのように反映させるかの視点が不可欠であり見直すべきである。（同様意見：山口文江、大西由紀子、執印まち子・ネ）
- ▲ 子ども意見表明や、それをどの様に反映させるかという視点が都政に欠けている。（同様意見：馬場たか子、大西ゆき子、いいじま時子、佐藤まさ子、堀之内敏恵、佐久間ひろ子・ネ）
- ▲ 子ども権利条約に照らし、意見表明や意見反映が都政に欠けている（佐々木みき・ネ）
- ▲ 子どもからの意見聴取や意見反映をするという考え方が教育庁にない。このまま計画通りに進めることに疑問がある。（原田恭子・ネ）

質問事項7：「推進計画が実施されるようになってから、定時制課程の受験者にかなりの不合格者が出るようになってきました。これはこの間定時制高校が果たしてきたセーフティネットとしての役割等実態を考慮しないまま、進められた募集停止によるものと私たちは考えていますが、あなたはどうお考えですか？」

- ▲ 定時制高校がセーフティネット的な役割を担っていることは認識している。定時制課程の二次募集については不合格者が出ているようだが、定時制全体の募集枠の中では十分入学が可能であると聞いている。二次募集で定員に満たない学校では三次募集も行われているようであり、セーフティネット的役割は果たしていると思う。（同意見：山崎孝明、高島直樹、山加朱美、串田克巳、吉野利明・自）
- ▲ 定時制課程の二次募集については不合格者が出ていますが、定員に満たない学校では三次募集も行われています。従って「定時制高校」のセーフティネット的な役割は果たされていると思います。（公明党）
- ▲ 軽々に断ずることは避けなければならないと思います。募集停止の影響という要素も考慮し、真摯に対応してゆくことが大切です。募集倍率を詳しく見てみると、学校ごとの格差が大きくなっていて、特定の学校に人気が集中していることがうかがえます。改革で受験生の応募動向が混乱した結果であればその対応策が必要です。進学を希望しながら叶わない人が出ないように取り組まなければならないと思います。（同様意見：和田宗春、西岡真一郎・民）
- ▲ 私の住んでいる区でも定時制を希望する生徒がいるにもかかわらず、周辺の定時制の統廃合で深刻な事態となっており今のまま計画を進めることは認められません。（東ひろたか・共）
- ▲ 様々な条件のなかで通学している生徒たちにとって地域の身近な場所から定時制高校がなくなっていくことは「学習権」そのものが侵害されることになると思います。（小松きょう子・共）

- ▲ どの子どもが学び成長できるように、高校までは希望者全入が望ましいと思います。(宮本徹・共)
- ▲ チャレンジスクールやエンカレッジスクール等の設置により、数の上では間に合ったとしても地域の偏在や学力不足で入れない生徒も出ているのではないか。実態を充分考慮して進めるべきだ。(同様意見：原田恭子、佐久間ひろ子、大西由紀子・ネ)
- ▲ 机上の数合わせとしては不足しないという計画に無理がある。学力不足で不合格になった生徒もあると思うが十分な検証と実態を考慮し進めなければならない。(同様意見：いじま時子、馬場たか子、執印まち子、佐々木みき、堀之内敏恵、大西ゆき子、山口文江、佐藤まさ子・ネ)

質問事項 8：「あなたは「定時制高校」について、どの様にお考えですか？お聞かせください。」

- ▲ 必要性あり。推進計画は緩やかに実行すべし。(高橋信博・自)
- ▲ 勤労青少年や様々な理由から学び直しをしたい方々などへの高校教育を提供する場だと考えています。また今後は都民ニーズの高い昼夜間定時制高校の整備を進めてゆくべきだと考えます。(同様意見：山崎孝明、吉野利明、高島直樹、山加朱美、串田克巳・自)
- ▲ 「定時制高校」は勤労青少年や様々な理由から改めて学びたい方々などへの高校教育を提供する場だと考えています。また今後は都民ニーズの高い昼夜間定時制高校の整備を進めてゆくべきです。(公明党)
- ▲ 高校やその世代が抱える問題を定時制高校に任せてしまうことには抵抗がありますが、「セーフティネット」としての必要性を感じます。(斉藤収・民)
- ▲ 多様な学びの場の一つとして重要なものだと考えます(西岡真一郎・民)
- ▲ まだまだ果たすべき役割はあると考える。(くまき美奈子・民)
- ▲ 生活環境が著しく変化する中で、全日制高校へ進みたくともその意向に添えない子どもたちがいる。このような状況で幅広い選択を子どもに提供すべきである。定時制高校の数が減少すると通学に支障を受ける子どもが増える。教育の場の提供を考えるとまだ定時制に期待するところが大きい。(泉谷つよし・民)
- ▲ みんながみんな一様に6・3・3・4制の学校に昼間通わなければ社会から認められないというのは異様です。個人がどの様な学び方をしたにしても実力があれば素直に認められ、実力を発揮できることが出来るようになるためにもいろいろな学びの場の一つとして大切だと思います。(和田宗春・民)
- ▲ まだ役割は終わっていない。財政的観点からのみ教育を考えるべきでない。(大津ひろ子・民)

- ▲ 過去には大きな役割を持っていたと思う。現在では定時制(夜間)の就学者の考え方が変わってきている。今後定時制の持つ意味も含めて調査研究して行く必要があると思う。(中村明彦・民)
- ▲ 我が国のライフスタイルな多様化から「学ぶ」機会は時、場所を問わない傾向にある。一方で若年層は私たち大人が思っている以上に精神的にもいわゆる「忙しい」状況にある。その中で若年における学習の機会は日本の将来を思うとき、その重要性は論をまたないものと思う。従って定時制高校は私立高校の動向を注視しながらも、独自にその役割を果たすべきと考えます(野沢あきら・民)
- ▲ 統廃合で公立高校の定員が少なくなったところへ、経済的負担から私立高校への進学を断念する生徒もいます。進学をあきらめずにがんばっている生徒を応援するのは行政の仕事です。未来ある子どもたちの「15の春を泣かせる」ことがあってはなりません。(東ひろたか・共)
- ▲ 「定時制高校」は長年に渡って様々な事情を抱える人が教育を受け社会に巣立ち、多くの人材を世に送り出してきました。すべての人が等しく教育を受ける上でも「定時制高校」はなくてはならないものです。短時間で通学できる身近な地域にある定時制高校の良さを認め都教委は廃止した夜間定時制高校を復活させるべきです。(小松きょう子・共)
- ▲ 私の住んでいる地域にも定時制高校がありますが、いずれも生徒に支持され必要とされているもので、存続すべきと考えます。定時制の統廃合が進んだ地域で、夜間定時制高校に不合格者が生まれていることは重大です。日本共産党は計画案の段階からこうした事態を懸念し、夜間定時制の廃止に反対してきました。懸念が現実のものとなってきている今、学ぶ意志がありながら進学をあきらめる子どもが一人でも出ないように、都教委は廃止した夜間定時制を復活させるなど対応をすべきと考えます。(鈴木おさむ・共)
- ▲ 全日制高校でも通学時間は短い方がよいと思いますが、特に夜間高校へ通う生徒は昼間働いている人が多く、肉体的にも精神的にも疲れていると思います。通学時間30分以内にあることが望ましいものであり廃止しないで存続すべきです。学ぶ意欲を持っているのに進学できないという子どもたちが一人でもでないよう都教委は廃止した夜間定時制高校を復活させるべきだと考えます。(かち佳代子・共)
- ▲ 私は現職時代文教委員として定時制高校を実際に調査し、様々な状況にある生徒の学習権を保障している定時制高校の役割を実感し、そうした立場から統廃合に反対してきました。そうした指摘が現実のものとなっていると思います。通学時間の問題や一人一人にきめ細かい指導がされている実態からしても廃止せず存続すべきですし、必要があれば廃止された学校も復活すべきだと考えます。(くぼた光・共)
- ▲ 第一に現在の生徒に愛され、支持され、必要とされていること。第二に地域社会から必要不可欠の存在として期待されていること。第三にすべての希望者が片道30分以内で

通学できること。等の理由から廃止した学校の復活とニーズをふまえた増設が必要だと考えます。(植木紘二・共)

- ▲ さまざまな事情で全日制高校に進学できなかった方や改めて東京で高校教育を希望される方にその機会を保障してきた東京の定時制高校は大切な教育機関です。都立高校のあり方については教師、生徒、都民、専門家の参加で全面的に見直す必要があると考えます。(小林行男・共)
- ▲ 私の知人にも小・中と不登校で、定時制高校で初めて学校に通えた人がいます。さまざまな事情を抱えた生徒が通う定時制高校は社会にとって不可欠の役割を果たしていると思います。国民の学習権を保障するため身近なところに定時制は必要です。統廃合ではなく存続を！(宮本徹・共)
- ▲ 私の住んでいる地域にも都立の工業高校があり現在182人が定時制に通っています。「改革推進計画」ではそこは廃止対象校には含まれていませんが、との姿勢を見てみると今後が心配です。学ぶ意志を持った人たちが近距離の場所に学ぶ場を確保できるようにすることが行政の役割です。統廃合にはキッパリと反対します。(岩永とおる・共)
- ▲ 都教委は大規模な昼夜間定時制をつくり、現在の夜間定時制の定員数を確保したといますが、定時制の統廃合が進んだ地域で、夜間定時制高校に不合格が生まれていることは見過ごせません。都教委は通学時間30分以内の身近な地域にあり生徒に支持され必要としている現在の夜間定時制高校の良さを認め、廃止せずに存続すべきです。日本共産党は、計画案の段階からこうした事態を懸念し、夜間定時制高校の廃止に反対してきました。懸念が実際のものとなっている今、学ぶ意志がありながら進学をあきらめる子どもが一人でも出ないように、都教委は廃止した夜間定時制高校を復活させるなど必要な対応を行うべきです。(同様意見：かち佳代子、中村みのる、桑名文彦、小竹ひろ子、あきま洋、渡辺くみ子、前田武彦、藤岡ともあき、清水ひで子、工藤けいいち、浅川修一、高橋信夫、小林もとのり、松村友昭、田中とも子、吉田信夫、柏崎やすまさ、石渡あきら、宮本栄、渡辺やすのぶ、共)
- ▲ 生徒に支持され必要とされている現在の夜間定時制高校の良さを認め、廃止せず存続すべきです。学ぶ意志がありながら進学をあきらめる子どもが一人でも出ないように都教委は廃止した夜間定時制を復活させるなどの対応を行うべきです。(ふじた美佳・共)
- ▲ 夜間定時制は、様々な理由から全日制高校に通えず定時制高校に通ってくる生徒にとってなくてはならない存在となっています。その廃止は憲法で認められた教育を受ける権利を侵害するものです。存続のために全力を挙げます。また定時制の統廃合が進んだ地域で、夜間定時制高校に不合格が生まれていることは見過ごすことが出来ない問題です。学ぶ意志がありながら進学をあきらめる子どもが出ないように、廃止した夜間定時制高校の復活など都教委はきちんと対応すべきです。(大城みゆき・共)

- ▲ これまでの質問事項についての皆さんの考え方や立場に全面的に賛成であり、昨年9月まで3年間文教委、また予算委で皆さんから知恵をいただきながら夜間定時制半減問題も、夜間の授業で通学可能な距離で少人数だからこそ様々なハンデイのある生徒の貴重な学習の場となっており、定数だけ三部制で吸収すると言っても不可能であること。三部制は全日制から移ってくる方が多く夜間定時制に通う様な生徒はふるい落とされてしまうことなど明らかにしてきました。まだまだ充分とはいえませんが、計画通り半減されるのをなんとしても食い止め一校でも多くの夜間定時制を残していきたい。ねばり強く最後まで皆さんとともに戦い抜く決意でいます。(曾根はじめ・共)
- ▲ 勤労学生が学び続けるための最後の砦とも言うべきものと思います。また何らかの事情で青春に高校に行けなかった方々の学び直しの場でもあります。小規模で地域にあってこそ、通い続けることが出来ます。多様なニーズに応えるというのなら、拡充こそ必要であり統廃合などんでもないことです。また卒業生にとっても学校がなくなることはとても悲しいことです。15の春を泣かせるな、忘れていたこんな言葉をまた言わなければならない都教委の愚策に心底怒っています。(井手重みつ子・共)
- ▲ 定時制高校は様々な条件の中で、身近な地域の学校としてその役割を果たしてきたと思います。定時制の統廃合が進められた地域で、夜間定時制高校に不合格者が生まれていることを聞きました。私は学ぶ意志をもち将来に夢をつなぐ子どもたちが希望を持って学ぶ場としての定時制高校を廃止させたり廃止した夜間定時制を元に戻すためがんばりたいと思います。(むろや友英・共)
- ▲ 今の社会状況では働きながら通学する生徒は減少してきていると思うが、選択肢を狭めることは問題です。その意味で定時制を必要としている生徒がいることを心にとめていきたい。(大西由紀子・ネ)
- ▲ 多様な学習環境のひとつとして定時制高校の果たす役割も大切にすべきだ。(同様意見：馬場たか子、いいじま時子、佐藤まさ子、堀之内敏恵、執印まち子、大西ゆき子、佐々木みき、佐久間ひろ子、原田恭子・ネ)



守る会・連絡会3.28集会より